

TOTO

オートクリーンC (オールインワンタイプ・発電タイプ)

TEF74型・TEF74A型
TEF84型・TEF84A型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

注意

機能部に水をかけない

故障の原因になります。



強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

凍結が予想される場所には設置しない

部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



本体の通水路には抵抗となるような部材 (オリフィスなど) をつけない

洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。

オリフィス
など

注意



水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない

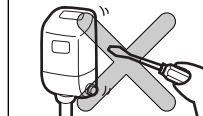
故障の原因になります。



分解禁止

分解したり、修理・改造は絶対に行わない

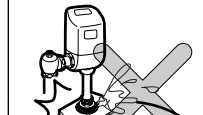
故障の原因になります。



必ず実行

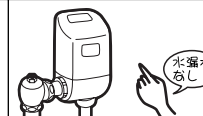
空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする

新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



取付接続部に腐食・ひび割れ・水漏れなどのないことを十分に確認のうえ、取り付ける

故障や水漏れの原因になります。



ピストンの掃除をする際は、いきなりピストンを取り出さず、止水栓または元栓を閉めてから行う (取扱説明書を参照してください)

水が噴き出て、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



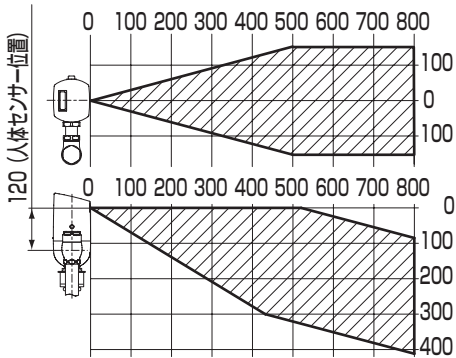
2-1

取り付け前に

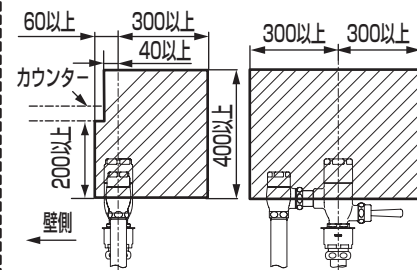
1. 取付条件の確認

- オートクリーンC(発電タイプ)は、既設取り替えタイプとリモデルタイプを品揃えております。リモデルタイプは便器の種類に応じた商品を選定してください。他社製便器には取り付けできませんのでご注意ください。下記A~Dへの場合は取り付けできませんので事前にご確認ください。

A. 下記感知領域内に障害物がある場合

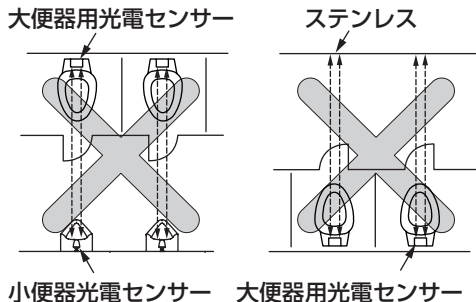


C. 既設フラッシュバルブ付近に手すりなどがある場合 (斜線は必要空間寸法)



※カウンターが飛び出したりしている場合はご注意ください。

B. 光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場合や、光電センサー同士が対向する場合



小便器光電センサー 大便器用光電センサー

D. トイレアームレスト、簡易昇降便座 人体センサー取付位置の関係上、誤感知しますので、使用できません。

2. センサーについて

- 太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動(感知)しない場合や誤作動する場合があります。
- 和風便器で前面の壁に紙巻き器が設置されている場合、トイレトーパーを巻き取る時に手かざしセンサーが誤感知するおそれがありますので、可能であれば側面の壁に紙巻き器を移動することをおすすめします。
- 男性が立位で小用を足す大便器では、センサーの取付位置の関係より、使用者を感知することができません。
- 幼児用便座、前丸便座をご使用の場合、使用後、または清掃後は便座を下げてください。
- 施工の際にセンサー面を傷つけないよう十分にご確認ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

3. 洗浄水について

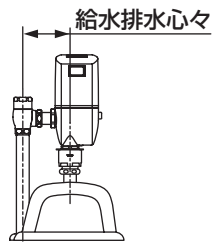
- TEF74型・74A型は水道水のみ、TEF84型・84A型は水道水・井戸水・再生水・雑用水に使用できます。ただし、井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

ホームページアドレス：<http://www.com-et.com/kiki/>

4.その他

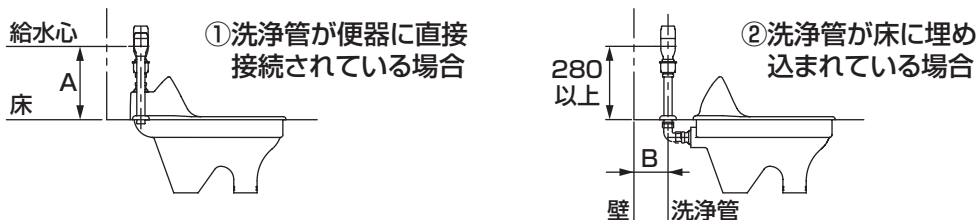
●給水排水心々

120mm以外は、下記品番の接続金具をご購入のうえ、施工の前にお取り替えください。
(取替要領は「① 接続金具の交換」を参照してください)



TOTO用		
給水排水心々(mm)	100	156
品番	TH342	TH342-2

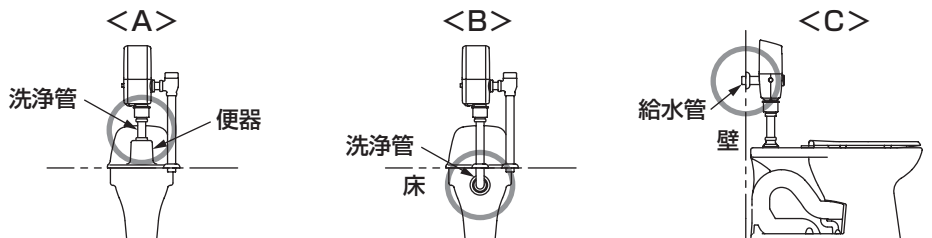
●和風便器に設置する場合は下記条件にご注意ください。



床から給水心までの高さ(A)が320mm未満の場合は、給水管(別売:402562)および洗浄管(別売:401206)への交換が必要です。

洗浄管が埋め込まれた状態で、洗浄管を約23mmカットする必要があります。壁から洗浄管まで(B)がパイプカットできるだけの空間を確保できるか事前にご確認ください。

●**下図A~C以外**の設置形態の場合は、パイプホルダーなどで給水管や洗浄管を確実に固定してください。



●オートクリーンCの給水方向は左右どちらにも対応できます。

●ワイヤレスリモコン(TES25型)はセットできません。

●汚物流しにはセットできません。

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

仕様

タイプ		既設取り替えタイプ	リモデルタイプ
品番		TEF74型、TEF84型	TEF74A型、TEF84A型
取り付け可能なフラッシュバルブ(寒冷地タイプは除く)		TV150型、TV750型	—
洗浄水量調節範囲	大	8~16L調節可能	
	小	6~10L調節可能	
工場出荷時標準洗浄水量		大: 10L 小: 7L	
給水圧力	最低必要水圧(流動時)	0.07MPa	
	最高水圧(静止時)	0.75MPa	
製品寸法(mm)		110(幅)×240.5(高さ)×92(奥行)	
電源		発電機+バックアップ電池	
電池寿命	リモコンあり	ワイヤレスリモコンはセット不可	
	リモコンなし	使用状況により流動的	
感知距離	人体センサー	800~500mmで4段階調節可能(白紙□300mmの場合)	
	手かざしセンサー	110mm(白紙□300mmの場合)	
人体感知時間		6秒間以上	
自動洗浄開始時間		人体感知が切れて約10秒後	
手かざし時間		0.5秒/2秒 切替可能 工場出荷時: TEF74ACRX, TEF84ACRXは2秒に設定 それ以外は0.5秒に設定	
小洗浄判定時間		120秒または150秒に設定可能 工場出荷時: 120秒	
自動洗浄		入/切 切替可能 工場出荷時: 入	
大小洗浄		大/大小 切替可能 工場出荷時: 大小	
設備保護洗浄		24時間洗浄がない場合は自動洗浄します 入/切 切替可能 工場出荷時: 入	
給水接続部		25A(ねじサイズ: R1)	
使用温度範囲		1~40℃	
使用水		TEF74型・TEF74A型: 水道水のみ	
		TEF84型・TEF84A型: 水道水、井戸水、再生水、雑用水(注)	

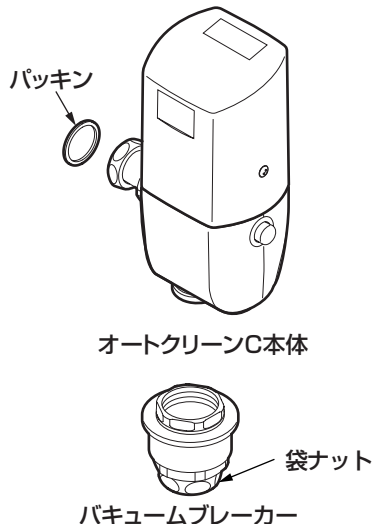
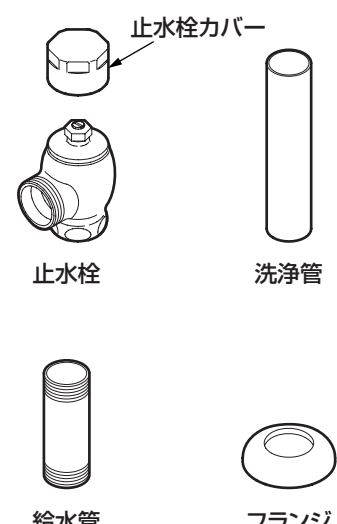



(注) 井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

ホームページアドレス: <http://www.com-et.com/kiki/>

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

オートクリーンC本体部	給水・洗浄管部 (リモデルタイプの場合)
 <p>オートクリーンC本体</p> <p>パッキン</p> <p>袋ナット</p> <p>バキュームブレイカー</p> <p>※既設取り替えタイプには袋ナットは同梱されていません。</p>	 <p>止水栓カバー</p> <p>止水栓</p> <p>洗浄管</p> <p>給水管</p> <p>フランジ</p>
その他	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="89 1069 313 1388"> <p>バキュームブレイカー用</p>  <p>施工注意札</p> <p>パッキン</p> <p>パッキンガイド</p> </div> <div data-bbox="336 1069 548 1420"> <p>スパッド用</p>  <p>施工注意札</p> <p>パッキン</p> <p>スリップワッシャー</p> <p>パッキンガイド</p> </div> </div> <p>※既設取り替えタイプの場合のみ</p>	 <p>施工説明書</p> <p>使い方ラベル</p> <p>必ずお客様にお渡しください</p> <p>取扱説明書</p> <p>掃除用磁石</p>

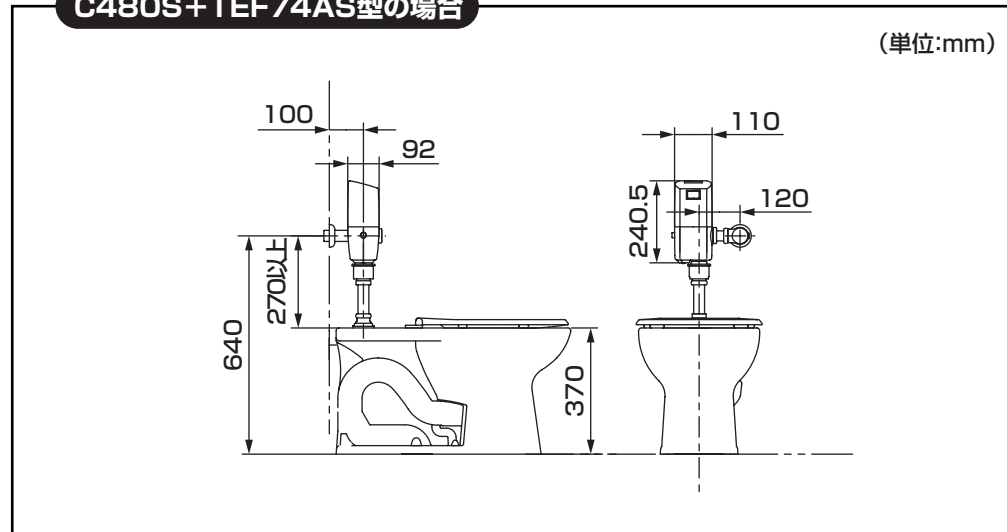
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5

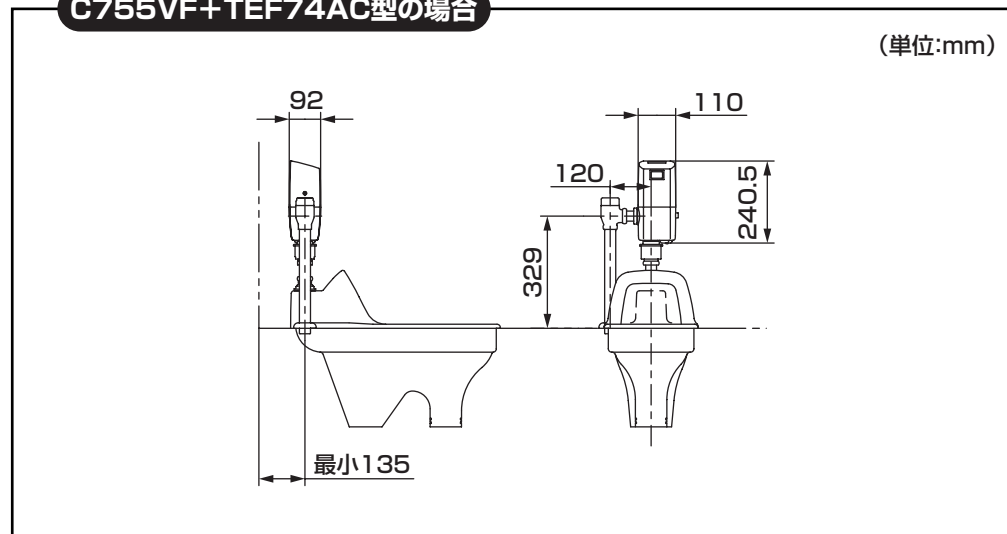
完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

C480S+TEF74AS型の場合



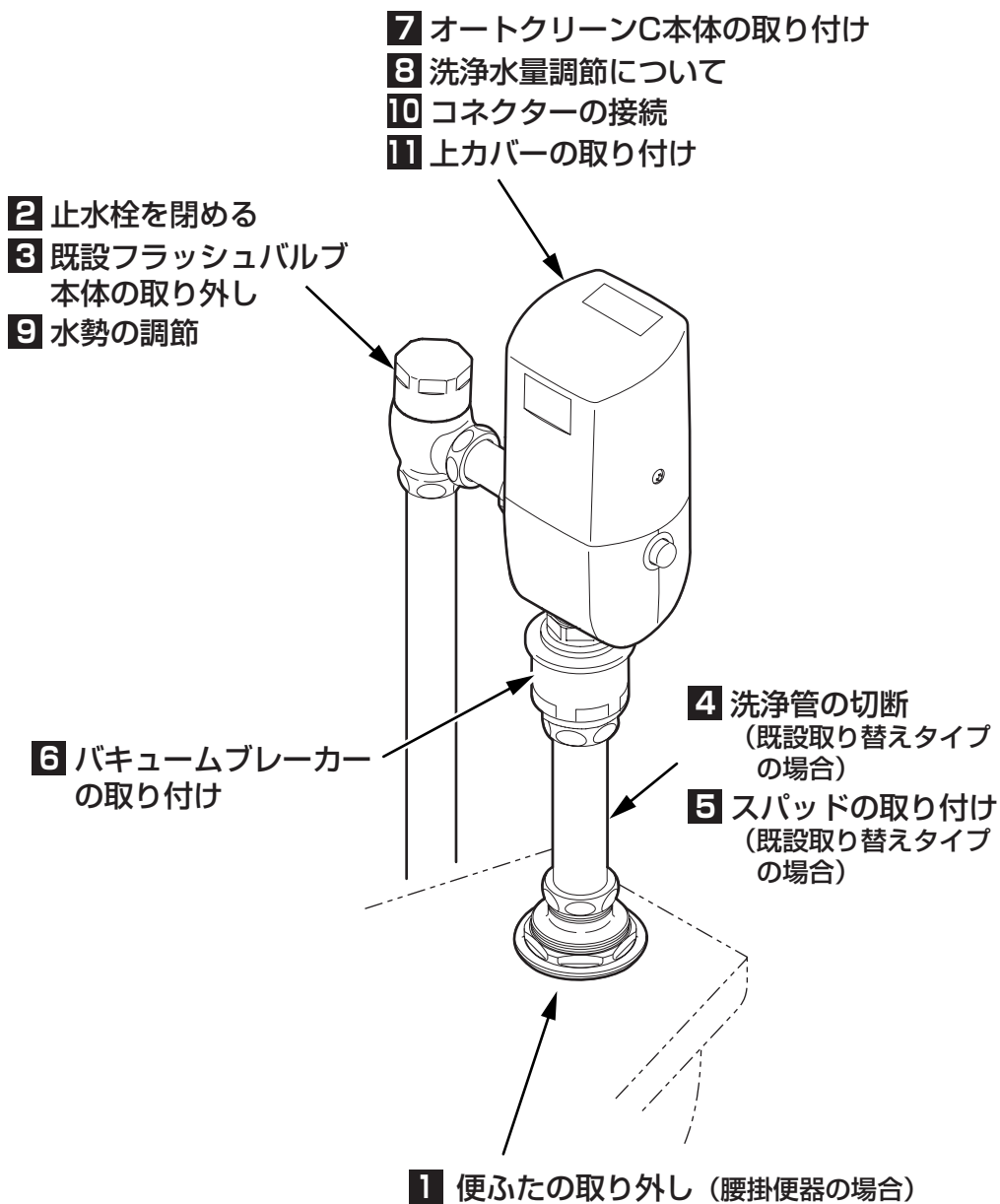
C755VF+TEF74AC型の場合



※バキュームブレイカー側面の「CL」ラインから便器のあふれ縁までは150mm以上を確保してください。

「CL」(Critical Installation Level)とは、バキュームブレイカーの空気吸入シート面の位置を示す線です。

6-1 施工手順



1 便ふたの取り外し（腰掛便器の場合）

腰掛便器の場合、便ふたを外す。

〈普通便座の場合〉

色番	色彩	対応スペーサー
なし	ホワイト	D59025
#N11	ペールホワイト	
#SC1	パステルアイボリー	
#SR2	パステルピンク	
#SM2	パステルブルー	
上記色番以外		D59025 t1

※その他の便器（暖房便座、ウォシュレット便座）については、当社各支社、営業所にお問い合わせください。

〈他社便座の場合〉

便ふたなしの便座にお取り替えください。



2 止水栓を閉める

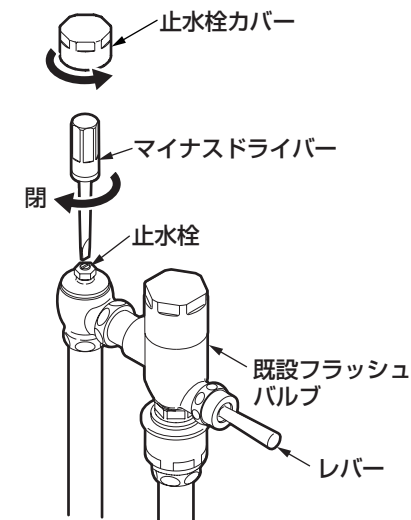
① 止水栓カバーがある場合、取り外す。

② 既設フラッシュバルブの止水栓をマイナスドライバーで時計回りに回して閉める。

③ レバーを数回押して水が止まったことを確認する。

注意

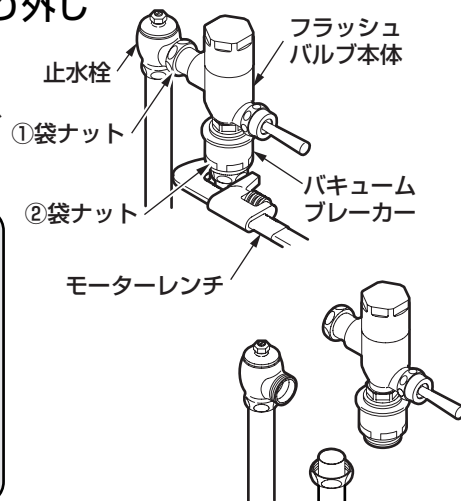
和風便器のフラッシュバルブを取り替える場合は、給水元栓を閉めてください。



3 既設フラッシュバルブ本体の取り外し

① 止水栓側面の袋ナットをゆるめる。

② バキュームブレイカー側の袋ナットをゆるめ、バキュームブレイカーごとフラッシュバルブ本体を取り外す。



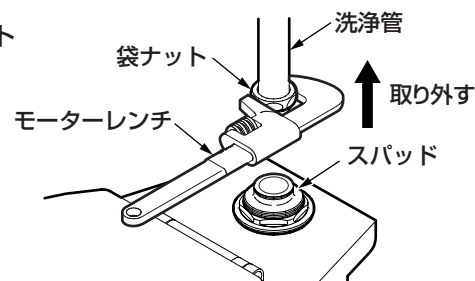
注意

- 共回りを防ぐため、バキュームブレイカーの袋ナットを外すときは、バキュームブレイカーをモーターレンチなどで押さえて取り外してください。
- 取り外し時に残水が出ますので、タオルなどでふき取ってください。

4 洗浄管の切断 (既設取り替えタイプ場合)

腰掛便器にフラッシュバルブが直接接続されている場合

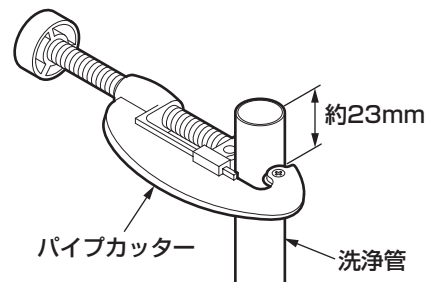
① スパッドの袋ナットをゆるめ、洗浄管と袋ナットを取り外す。



② 洗浄管をパイプカッターで約23mm切断する。

注意

切断面のバリを取ってください。



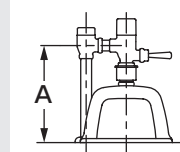
和風便器にフラッシュバルブが直接接続され、かつ、床から給水心までの高さ(A)が320mm未満の場合

① 給水管と止水栓を床から取り外す。

② 給水管(別売: 402562)に①で外した止水栓を取り付け、床下の給水配管に接続する。

注意

A寸法が320mm以上の場合は、給水管の交換は不要です。パイプカッターで洗浄管を約23mm切断してください。



③ オートクリーンC本体に同梱のバキュームブレイカーを取り付け、止水栓の袋ナットに仮固定する。

④ バキュームブレイカー下端からスパッド上端までの寸法をメジャーで測定し、オートクリーンC本体とバキュームブレイカーを一度取り外す。

⑤ 洗浄管(別売: 401206)をパイプカッターで必要な長さに切る。

必要な長さ=

④で測定した寸法+30mm(差し込み代)

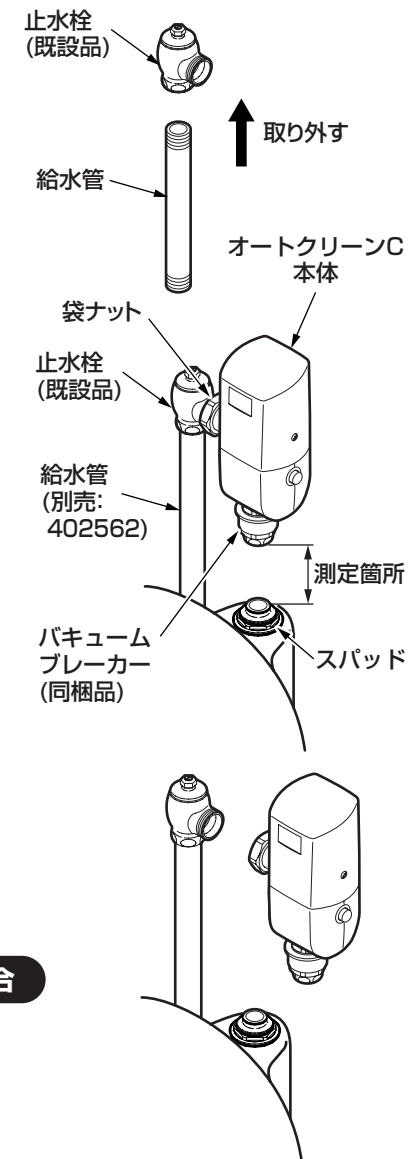
注意

切断面のバリを取ってください。

和風便器で、洗浄管が床に埋め込まれている場合

洗浄管が床に埋め込まれた状態でパイプカッターで約23mm切断する。

※パイプカッターが給水管に当たる場合は、一度給水管を外してパイプを切断してください。



5 スパッドの取り付け（既設取り替えタイプ場合）

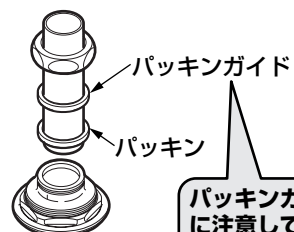
洗浄管をスパッドに取り付ける際は、使用済みパッキンとスリップワッシャーまたはパッキンガイドを同梱のパッキンとスリップワッシャーまたはパッキンガイドにお取り替えください。

注意

- パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。
- スパッドのサイズによりスリップワッシャータイプとパッキンガイドタイプがありますので既設使用と同じ組み合わせで取り替えてください。
- 組み合わせのAタイプとBタイプのパッキンは共通品です。

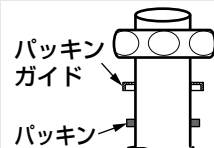


組み合わせ
Aタイプ



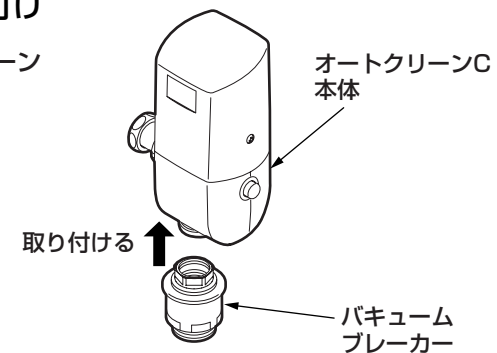
組み合わせ
Bタイプ

パッキンガイドの向きに注意してください。



6 バキュームブレーカーの取り付け

同梱のバキュームブレーカーをオートクリーンC本体に取り付ける。

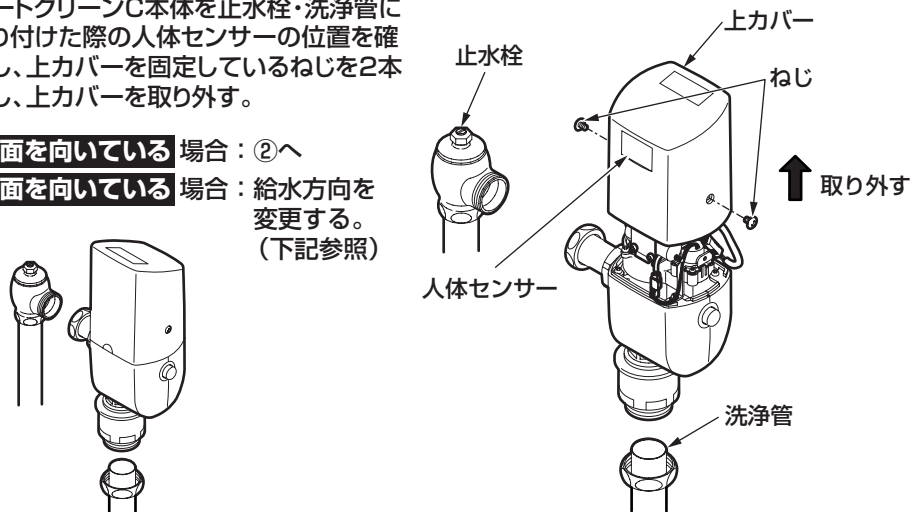


7 オートクリーンC本体の取り付け

- ①オートクリーンC本体を止水栓・洗浄管に取り付けた際の人体センサーの位置を確認し、上カバーを固定しているねじを2本外し、上カバーを取り外す。

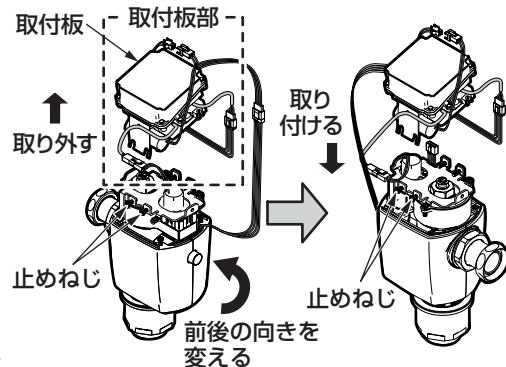
正面を向いている 場合：②へ

背面を向いている 場合：給水方向を変更する。
(下記参照)



給水方向の変更方法

1. 取付板の止めねじをゆるめ、取付板部を外す。
2. 1.で外したものの前後の向きを変え、取付板部を固定する。

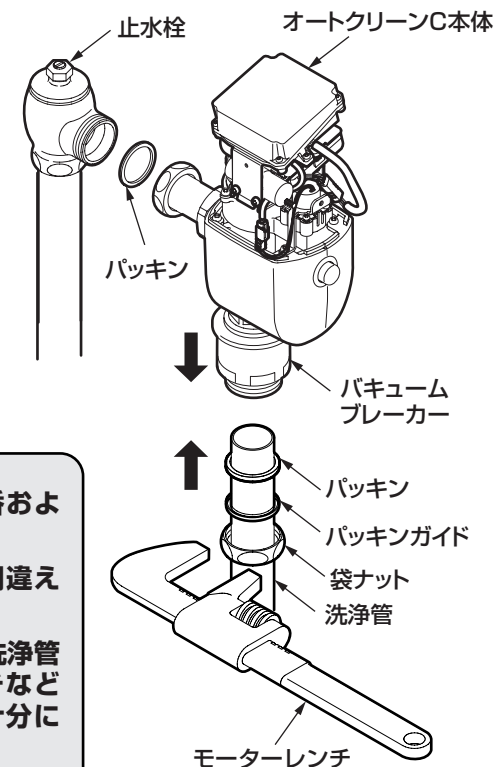


※図は、左給水→右給水を示します。

- ②オートクリーンC本体を洗浄管に差し込む。

- ③バキュームブレーカーに袋ナットを取り付ける。

- ④止水栓をオートクリーンC本体に取り付ける。
※パッキンを必ず取り付けてください。



注意

- パッキンとパッキンガイドの順番および方向性を確認してください。
- パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。
- オートクリーンC本体を止水栓、洗浄管に固定する際は、モーターレンチなどでコードを引っかけないように十分に注意してください。
- バルブ本体は縦向きに取り付けてください。斜めや横向きに取り付けると不具合の原因になります。

8-1 洗浄水量調節について

取り付ける便器に応じて洗浄水量を調節することにより、高い節水効果が得られます。

【便器のタイプと設定方法】に従い、必ず「大洗浄」と「小洗浄」の両方の洗浄水量を調節してください。

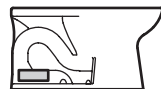
洗浄水量調節は目安です。

確実に洗浄できるか必ず確認し、適正な洗浄水量に調節してください。

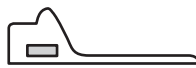
【品番の確認方法】

右図を参考にして、便器の品番を確認する。

.....品番確認位置



腰掛便器



和風便器

【便器のタイプと設定方法】

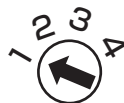
<例> 腰掛便器「CS140系」の場合（標準洗浄水量：大8L/小6L）

●大洗浄水量

洗浄水量調節スイッチを小洗浄水量に加える水量の数値「1」にあわせる。

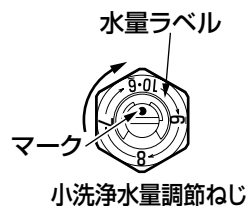
1	2	3	4
+2L	+3L	+4L	+5L

大洗浄水量調節スイッチ



●小洗浄水量

バルブの調節ねじのマークを数値6と10の間の「●」にあわせる。



小洗浄水量調節ねじ

注意

マイザレットおよび下表に記載の便器以外に取り付ける場合は、必ず「大」に設定してください。

切替方法は「8 切替スイッチの調節」を参照してください。

	腰掛便器						和風便器			
便器の品番 (TOTO品番)	C14	C21N CS210CN(注1) C426・C480A CS480C(注1) C550RU C743PVRS	C425	CS140系	C111・C21R CS210C(注1) C40・C40C C454PVR C48・C48AS CU714V	C426R C480AN C480N・C480S CS480CN(注1) C550SU C743PVN	C750系 他	C755系 C756系		
大洗浄 (洗浄水量 調節スイッチ)	10L 	10L 	11L 	11L 	8L 	13L 	8L 	9L 	11L 	8L
工場出荷状態	工場出荷状態	工場出荷状態	(注3)				(注3)			
小洗浄 (バルブの調節ねじ)	7L 	7L 	7L 	6L 	10L 	6L 	7L 	6L 	6L 	6L
工場出荷状態	工場出荷状態	工場出荷状態			(注2)		(注3)			

注1：大小洗浄機能を「大小」から「大」へ切り替えてください。（「8 切替スイッチの調節」を参照してください）

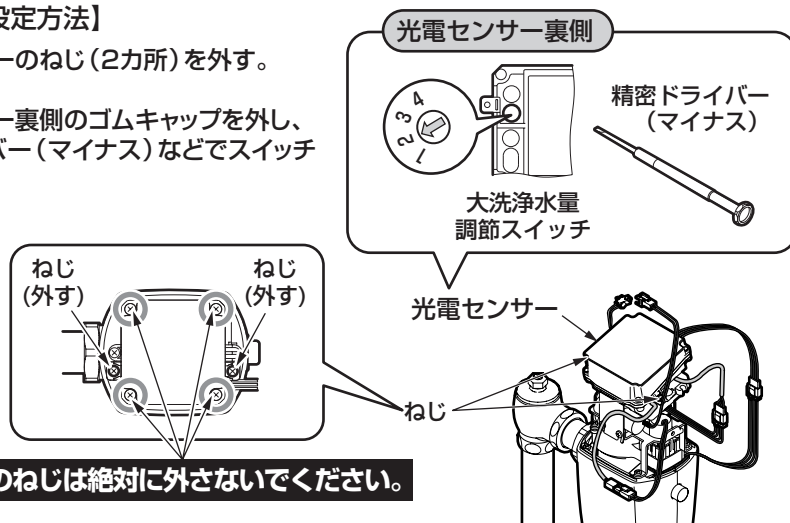
注2：調節ねじを水量ラベルの矢印と反対方向に回して10と6の間の「●」にあわせてください。

注3：給水圧力が0.07～0.1Mpa未満（流動時）の場合にあわせてください。

8-2 洗浄水量調節について(つづき)

【大洗浄水量の設定方法】

- ① 光电センサーのねじ(2カ所)を外す。
- ② 光电センサー裏側のゴムキャップを外し、精密ドライバー(マイナス)などでスイッチを調節する。

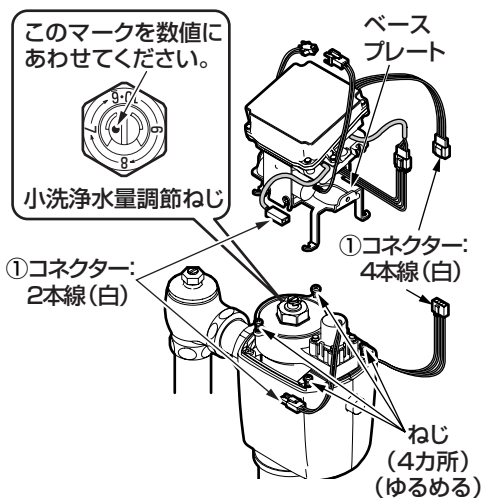


【小洗浄水量の設定方法】

- ① コネクター(2カ所)を外す。
 - ・発電機 4本線(白)
 - ・駆動部 2本線(白)
- ② ベースプレートのねじ(4カ所)をゆるめ、ベースプレートを外す。
- ③ 調節ねじ部の水量ラベルを参考にしながら、マイナスドライバーで調節する。

※小洗浄調節中に現在の設定水量位置を見失ったときは、1度調節ねじを時計回りに止まるまで(全閉)回してください。この位置から反時計回りに回して最初の「7」にマークをあわせると、約7Lに設定できます。ただし、全閉時にマークが「7」近くにある場合は、反時計回りに約1回転回して「7」にあわせてください。

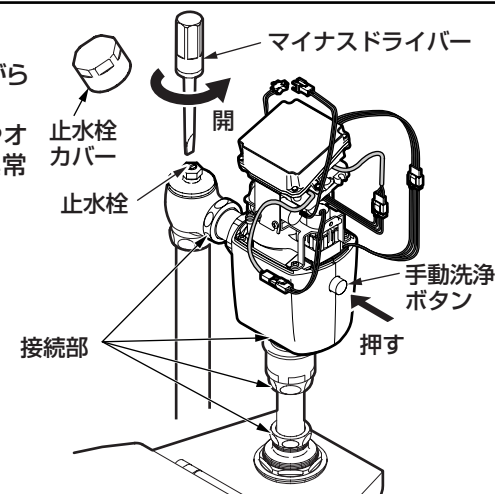
- ④ 水量を調節したあとは、ベースプレートをねじ(4カ所)で固定し、コネクター(2カ所)を接続する。



9 水勢の調節

- ① 止水栓を開け、手動洗浄ボタンを押しながら水勢を調節する。
※この時、水はねがないことと、接続部やオートクリーンC本体に水漏れなどの異常がないことをご確認ください。

- ② 止水栓カバーがある場合、取り付ける。



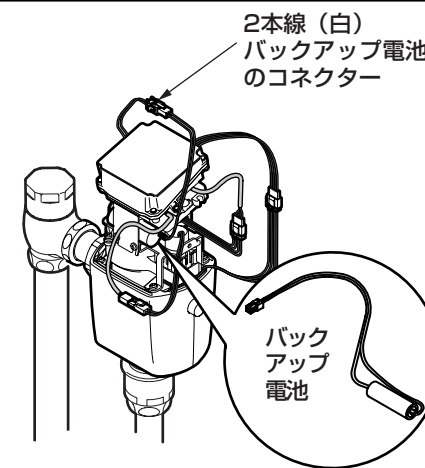
10 コネクターの接続

バックアップ電池のコネクターを接続する。

※コネクター接続後、センサーが感知可能になるまでに約2分かかります。

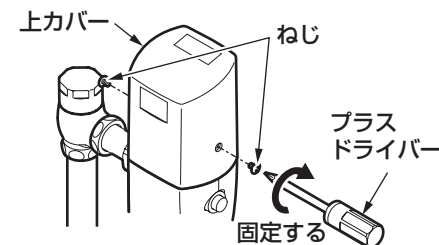
注意

コネクター接続後10分間は、感知するたびに人体センサー窓ガラス内の感知表示ランプが点滅しますが、その後は、感知しても点滅しません。



11 上カバーの取り付け

コードをかみ込まないように、十分注意しながら上カバーをセットし、ねじで固定する。



7


試運転

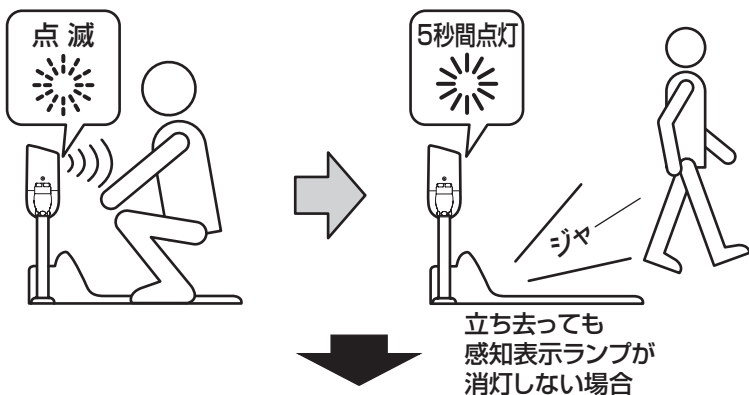
- 本商品はバックアップ電池のコネクターを接続後、作動するまで2分間必要です。
- 試運転は、必ず上カバーをかぶせて行ってください。

人体センサーの前に立ち、使用者を感知すると感知表示ランプが点滅します。6秒以上点滅させたあと、立ち去ると感知表示ランプが消灯し、約10秒後洗浄水が流れることをご確認ください。ただし人体センサーの感知表示ランプの点滅はバックアップ電池のコネクター接続後、約10分間ですのでご注意ください。感知表示ランプを再度点滅させるには、バックアップ電池についている白色のコネクターを抜き差ししてください。

また、洗浄開始から約5秒間、手かざしセンサーの感知表示ランプが点灯することをご確認ください。

万一、洗浄時に手かざしセンサーの感知表示ランプが点灯しない場合は、何らかの原因で発電機が故障していますので、TOTOメンテナンス(株)(TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02)へ修理をご依頼ください。

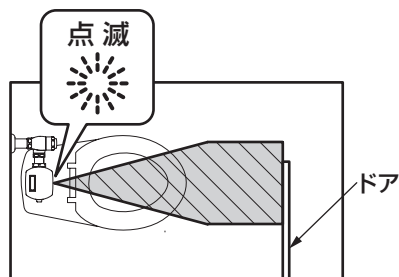
※携帯電話(PHSは除く)からのご利用は…  0570-05-1010(有料)へ



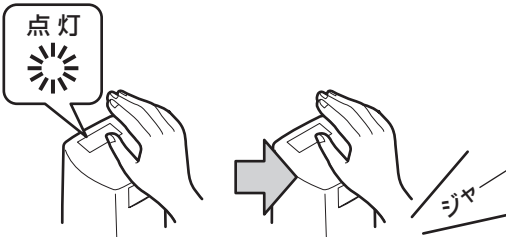
使用者が立ち去ったあと、人体センサーの感知表示ランプが消灯しない場合は、トイレブースの壁を感知していますので、感知距離の再設定が必要となります。

設定方法は「**8** 切替スイッチの調節」を参照してください。ドアを開けたままで人体センサーの感知表示ランプが点滅する場合にも、右記感知距離の再設定を行ってください。

※人体センサーが壁やドアを感知していると正確に人体を感知できず、大小洗浄の判定や自動洗浄ができなくなります。またバックアップ電池の早期切れにもなり、寿命が短くなります。



手かざしセンサーから5cm以内に約1秒手を近づけると、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。電源投入後、10分以内は手をかざすと感知表示ランプが点灯します。(10分を超えると点灯しませんが、故障ではありません)



洗浄水量の少ない小洗浄で洗浄性能の確認を行ってください。

小洗浄性能の目安としては、76cmに切断したトイレットペーパー(JIS品)を丸めたもの7個が1度に流れることを確認してください。下表を参考にし、センサーから5cm以内に約1秒手をかざして、小洗浄を行ってください。トイレットペーパーが流れない場合は、止水栓の開閉ねじで水勢の調節を行ってください。それでも流れない場合は、小洗浄水量を調節してください。調節方法は「**6-5** - **8** 洗浄水量調節について」を参照してください。

大小洗浄機能	人体センサーの感知時間	洗浄水量
大小	6秒以上～小洗浄判定時間(120秒または150秒)	小洗浄水量
	小洗浄判定時間以上	大洗浄水量
大	—	大洗浄水量

使用者に操作方法がわかるように、お取り付けのシステムに合ったラベルを選び、オートクリーンC本体に近い壁面に貼り付けてください。

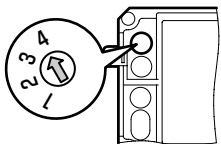
8

切替スイッチの調節

以下の設定を行うには光電センサーを取り外していただく必要があります。
光電センサーの取外要領は、「**6-5** - **8** 洗浄水量調節について」を参照してください。（図は光電センサー裏側です）

スイッチの設定を変更したあとは、必ず上カバーをかぶせて確認作業を行ってください。

感知距離の設定（人体センサー）



スイッチ	1	2	3	4
感知距離 (単位:mm)	500	600	700	800

※出荷時は「スイッチ4：800mm」に調節してあります。

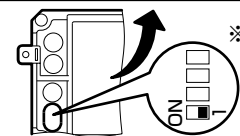
光電センサー裏側の感知距離調節スイッチのゴムキャップを外し調節してください。

- ①人体センサーの感知表示ランプが点滅したままの場合
…感知距離調節スイッチを「4」から「3」へ回す。
- ②スイッチ切り替え後も人体センサーの感知表示ランプが点滅したままの場合
…感知距離調節スイッチを1つずつ下げて調節してください。

手かざし時間切替方法

← スイッチ

SW 4：小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3：大小洗浄	大 / 大小
SW 2：自動洗浄	切 / 入
SW 1：手かざし時間	2秒 / 0.5秒

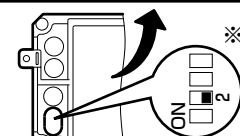


※出荷時は0.5秒に設定

自動洗浄切替方法

← スイッチ

SW 4：小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3：大小洗浄	大 / 大小
SW 2：自動洗浄	切 / 入
SW 1：手かざし時間	2秒 / 0.5秒



※出荷時は自動洗浄「入」

スイッチ1 (SW1) を切り替える。

工場出荷時は0.5秒に設定していますが、手かざしセンサーによる不用意な洗浄が発生する場合は、2秒に切り替えてください。
※TEF74ACRX・TEF84ACRXは工場出荷時、2秒に設定しています。

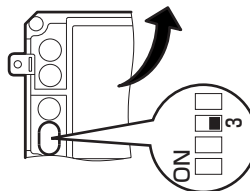
スイッチ2 (SW2) を切り替える。

流し忘れ防止のため、使用者が立ち去ったあとに自動で洗浄するよう工場出荷時に設定しています。
自動洗浄をオフにする場合は、スイッチ2 (SW2) を「切」に設定してください。

大小洗浄切替方法

← スイッチ

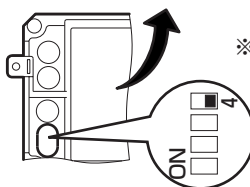
SW 4：小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3：大小洗浄	大 / 大小
SW 2：自動洗浄	切 / 入
SW 1：手かざし時間	2秒 / 0.5秒



小洗浄判定時間の切替方法

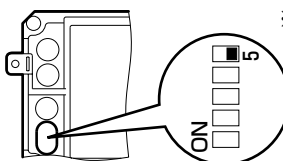
← スイッチ

SW 4：小洗浄判定時間	150秒 / 120秒
SW 3：大小洗浄	大 / 大小
SW 2：自動洗浄	切 / 入
SW 1：手かざし時間	2秒 / 0.5秒



※出荷時は120秒に設定

設備保護洗浄の切替方法



※出荷時は設備保護洗浄「入」

スイッチ3 (SW3) を切り替える。

スイッチ3 (SW3) を切り替えることで大洗浄のみの場合と、大小洗浄の判定を行う場合とを選択できます。
工場出荷時は大小洗浄の判定を行うように設定しています。

※マイザレットおよび「**6-5** - **8** 洗浄水量調節について」に記載の便器以外に取り付ける場合は、必ず「大」に設定してください。

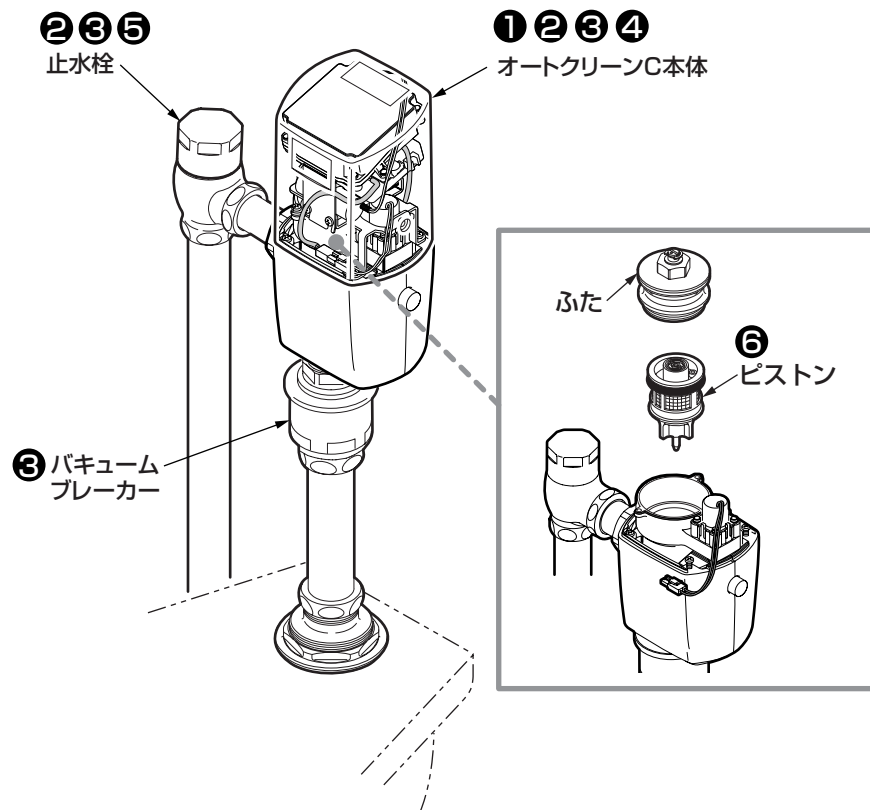
スイッチ4 (SW4) を切り替える。

人体センサーの感知時間により大 / 小便を判定して適正水量を流します。
工場出荷時は、120秒に設定していますが、スイッチ4 (SW4) を切り替えることで、150秒に設定することもできます。

スイッチ5 (SW5) を切り替える。

24時間洗浄がない場合は配管を保護するため、自動的に洗浄します。
設備保護洗浄をオフにする場合は、スイッチ5 (SW5) を左側に切り替えてください。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



配線の確認

コネクタが接続されているか確認してください。

① コネクタは確実に接続していますか？

➡ 6-6 - 10 「コネクタの接続」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

② オートクリーンC本体、止水栓はしっかり取り付けられていますか？

➡ 6-4 - 7 「オートクリーンC本体の取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

③ 接続部はしっかり締め付けていますか？

➡ 6-3 - 6 「バキュームブレイカーの取り付け」参照

➡ 6-4 - 7 「オートクリーンC本体の取り付け」参照

洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

④ 小洗浄水量・大洗浄水量は正しく設定されていますか？

➡ 6-5 - 8 「洗浄水量調節について」参照

⑤ 止水栓は開いていますか？

➡ 6-6 - 9 「水勢の調節」参照

⑥ ピストンのごみ詰まりはないですか？

➡ ピストンの掃除をする。
掃除方法は取扱説明書を参照してください。

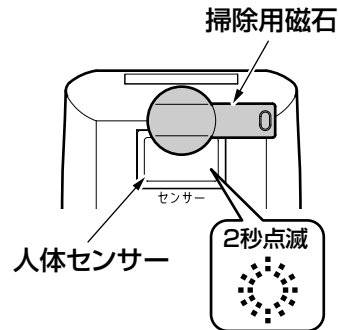


10 発電機の確認

取り付けが完了したあと、発電機の作動チェックを行ってください。

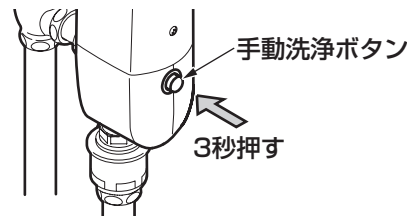
1. 人体センサーのガラス上部に、窓部のランプが2秒間点滅するまで掃除用磁石を当てる。

洗浄停止モードに入ります。



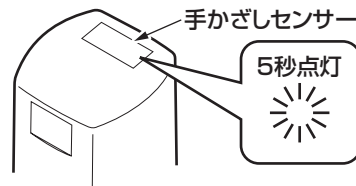
2. 手動洗浄ボタンで水を流す。

バルブ本体の手動洗浄ボタンで水を流します。



3. 手かざしセンサーのランプが5秒間点灯することを確認する。


羽根車が正常に作動していれば、手かざしセンサーのランプが5秒間点灯します。



手かざしセンサーのランプが点灯しなければ羽根車が停止しています。

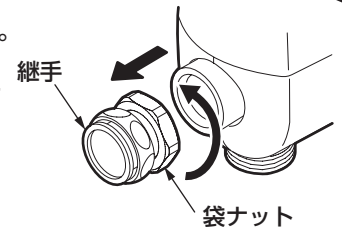
TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。

TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02

※携帯電話 (PHSは除く) からのご利用は…  0570-05-1010(有料)へ

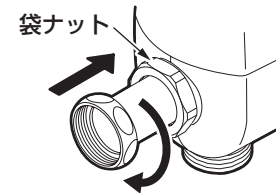
11 接続金具の交換

- ① モーターレンチでオートクリーンCの袋ナットを外す。
- ② 継手に布切れなどを当て、矢印の方向にパイプレンチなどの工具で回しながら外す。



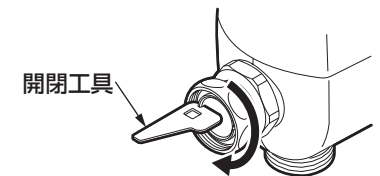
TH342-2の場合

- ③ ご購入いただいた接続金具の継手を手で矢印の方向に止まるまで回す。
- ④ 袋ナットをモーターレンチでオートクリーンC本体に締め付ける。

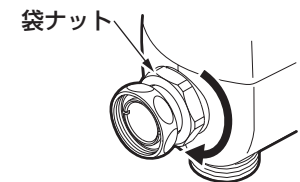


TH342の場合

- ③ 同梱の開閉工具で継手を矢印の方向に止まるまで回す。



- ④ 袋ナットをモーターレンチでオートクリーンC本体に締め付ける。



- ⑤ 同梱の開閉工具で、再び継手を矢印の方向に止まるまで回す。

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。